

国史跡中里貝塚 保存活用計画策定委員会 かわら版

第4号(平成31年2月発行)

中里貝塚の保存・活用・整備に向けた具体的な方向性を
話し合う保存活用計画策定委員会の第7回会議を開催しました！

平成31年2月12日に北区飛鳥山博物館にて第7回「中里貝塚保存活用計画策定委員会（以下「委員会」という。）」を開催しました。今回の委員会では、議題と報告が2つずつあり、その中でも本計画の要となる議題（1）保存管理計画案について、おおまかな方針が定まりました。

第7回委員会（平成31年2月12日）

議題

- (1)保存管理計画案について
- (2)活用計画および整備計画案について

報告

- (1)中里貝塚委員会だより（かわら版）の発行
- (2)ワークショップの報告

主な意見

保存管理計画案について

- ・史跡指定地の現状と、今後の整備目標を踏まえた現状変更基準を精査する。

史跡の整備活用について

- ・整備の前段階から子ども達がこの事業に参画できると、地域学習に繋がると思う。

※第1～7回の概要は、北区飛鳥山博物館のホームページにて公開しています。



●本委員会は、傍聴いただけます。くわしくは、事務局（北区飛鳥山博物館）までお問い合わせください。

中里貝塚とは…国内最大規模の貝層を有する、縄文時代の“水産加工場”です。マガキとハマグリの干貝加工に伴い廃棄された貝殻が、最大4.5mの厚さで堆積し、貝類の剥き身処理に関わる遺構なども発見されている貴重な遺跡です。



<保存活用計画とは>

国指定の文化財等について、保存活用の考え方を明確化し、必要な諸手続などを整理して、文化財等の確実な継承を図るために作成する計画です。

お問い合わせ（事務局）

北区飛鳥山博物館

TEL：03-3916-1133

<http://www.city.kita.tokyo.jp/hakubutsukan/>



■本かわら版は、委員会で話し合われた内容等、を昭和町地区自治会連合会管内の皆様にお知らせするため発行するものです。